

くらし豊かに

“ちっこいオジサン風”でなく

「オーダースーツ」と聞くと男性のものと、いうイメージが強いが、最近、働く女性でスーツをあつらえる人が増えているという。そんな女性客を狙ったテーラー（仕立て屋）も急増中。既製服を押しつけて、女心を射止めるキワードは、「テーラードスーツでもフェミニン」だ。

【國保環、写真も】

キワードは「フェミニン」

オーダースーツ 働く女性に人気

◆シルエット

「スーツは着るだけでなく、きちんとした印象になり、コーディネートも楽。男性と同じように仕事着として優れたスーツのメリットを認める人が多くなれば、より自分のサイズに合ったものを求めるのは当然です」

パターンオーダーの女性向けビジネススーツを販売する「エニース」(大阪市の川崎昌子社長は、オーダー人気の理由をこう分析する。昨年2月からインターネットと直営店で販売を始め、1年で2000人にのぼる女性から注文を受けた。バストを基準にした8サイズから選び、袖丈や着丈を調整する仕組み。価格は生地により違い、パンツまたはスカートとジャケットで3万8000円から。低価格も売りだが、特徴は何より「補綴」の女性専用オーダーメード店「サロン・ド・バ

を絞り、背中のカープも女性の体に沿うよう工夫している。

「パンツスーツは私も好きでよく着ています。が、これまでのテーラーのデザインは、ちっこいオジサンになるようなものしかなかった。キリッとした中にも女性らしさを出したい。そんな気持ちに応えるものを作りたかった」と川崎さんは話す。

「グレー」(東京都中央区)は、その名の通り優雅な「サロン」のイメージが好評。ビル5階の隠れ家のような店舗は、高窓から光が差し込み、ふかふかのカーペットやゆったりとしたソファが備えられている。パターンをもとに細部を調整する「パトナルオーダー」制でスーツは11万円から。顧客の中心は30代半ばから40代で、年間20着

◆着心地

オープンして1年あまりの女性専用オーダーメード店「サロン・ド・バ

あつらえた人もいる。彼女たちがオーダーを選ぶ理由に「着心地がある」と店長の鈴木宏枝さんはみる。「既製服はあまたあるけれど、女性らしく細身になるほど、肩が凝り、着心地が悪いのは私も経験している。多くの服を着尽くして、最終的にサイズのストレスを無くしたいとオーダーにたどりつく人が多いです」